
新・世界の童話？

沢庵

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

新・世界の童話？

【Nコード】

N7056M

【作者名】

沢庵

【あらすじ】

ダメダメ作者のデビュー作です。拙い文章ですので、ものすごく暇な人意外は読まないことをオススメします。

なお、話を重ねるにつれて少しずつ長い話をかけるようにしたいです。

スモモ太郎（前書き）

とても短い話です…

スモモ太郎

あるところに、気の弱いお爺さんと、お爺さんをこき使うお婆さんが住んでいました。

ある日お婆さんはコインランドリーに洗濯をしに、お爺さんは神社にゲートボールをしに出掛けました。その後、お婆さんがコインランドリーから帰る途中にスモモを売っている屋台を見付けました。お婆さんはいわゆる衝動買いというものでお金（勿論お爺さんの年金）が無くなるまでスモモを買いました。

家に着いたお婆さんはスモモの中に何かが入っていることに気付きました。そして、恐る恐るスモモを割ってみると中から人間の手が出てきました。それを見たお婆さんは「あの屋台の主人、殺人鬼だったのか！」「と叫びました。とりあえず他のスモモも割りましたが目、鼻、口、足などの人体の一部が出て来ました。しかし、最後のスモモからは「家事専用アンドロイド「スモモ太郎」組み立て説明書」と書かれた紙が出て来ました。この部品を組み立てればいいということは分かりましたが、お婆さんは機械音痴だったので、ガ。プラを組み立てることだけが得意のお爺さんが帰ってくるのを待ちました。

30分後、お爺さんが帰ってきたので、早速「スモモ太郎」を組み立てて貰いました。しかし、電池をセットし、起動ボタン（おでこにある）を押したのに「スモモ太郎」は動きませんでした。そこで、お爺さんが調べたところメモリーカードが無いので動かないということが分かりました。そこで、お婆さんはさっき見つけたスモモを売っている屋台に行きました。店員聞いたら、さっき赤い体で角の生えた、パンツ一丁の大男が買ったと答えました。お婆さんは大男を探し出し、そこら辺に落ちていた鉄パイプで大男を倒しました。

その後、お婆さんは死ぬまで楽をしましたとき。めでたし、めで

たし。

スモモ太郎（後書き）

感想やおかしい点の指摘などお待ちしております。

猿ザリガニ合戦（前書き）

夏休みと原案があるということでも早く更新出来ました。それにしても、前回と文字数あんま変わってない・・・

猿ザリガ二合戦

むかし、むかし、あるところに、意地悪なザリガ二と気の弱い二ホンザル君が住んでいました。ザリガ二は、自慢のハサミで、猿の髪型を勝手にアフロにしたり、ドラ。もんに出てくるの。太君の髪型にしたりしてイジメていました。

そんなある日のこと、二ホンザル君の家に中学校時代の友達ゴリラ先輩、テナガザル君、チンパンジー君がやって来ました。ゴリラ先輩達はの。太君ヘアの二ホンザル君を見て笑いましたが、その髪型になったのがザリガ二の仕業だということを知ると、とても怒って二ホンザル君と一緒にザリガ二を懲らしめる事にしました。特にゴリラ先輩は自分もモヒカンにされた事があつたので、二ホンザル君の恥ずかしい気持ちがよく分かりました。

そこで、二ホンザル君達はどうやってザリガ二を懲らしめるのか作戦をたてる事にしました。懲らしめる方法は、捕まえて、4匹でボコボコにするということを決まりましたが、どうやって捕まえるかはなかなか決まりません。「ちよつと便所来いよ」作戦や偽物のラブレター作戦など考えましたが、「そんなの書くの面倒くさい」という作者の意見によって却下されました。「もう案ねーよ」と呟いていた二ホンザル君はちよつと前に人間の子供達がスルメでザリガ二を釣っていたのを思い出しました。それをみんなに話してみると、みんなが釣り好き（作者はそうでもないけどね）ということでスルメでザリガ二釣っちゃおう大作戦が採用されたのである。

そして3日後。道のだ真ん中にスルメを置き（思いつきり罢了ね）、ザリガ二を待ちました。待つこと30分。ザリガ二がやって来ました。「おっ、こんな所に俺の大好きなスルメが落ちてる。貰っちゃえ」と、とっても馬鹿なザリガ二はスルメに食らいつきました。もちろん、スルメという餌に食らいついたザリガ二はあつという間に捕まりそうになりましたが、最後に二ホンザル君の鼻をハサ

ミではさみました。余りの痛さにニホンザル君は大暴れ。鼻の痛みが消えたニホンザル君の目に映ったのは、無残に潰れたザリガニの死体と気絶したゴリラ先輩達でした。

その後、ニホンザルの髪型が変になることはなくなりましたが、ザリガニを倒してから、3週間病院で何者かに襲われた時に出来た怪我を治しましたとさ。

めでたし、めでたし？

猿ザリガニ合戦（後書き）

感想お待ちしています。次回は一寸法師辺りをいじくろっかな〜と
思っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7056m/>

新・世界の童話？

2010年10月15日22時03分発行